

PCR検査の実施状況について

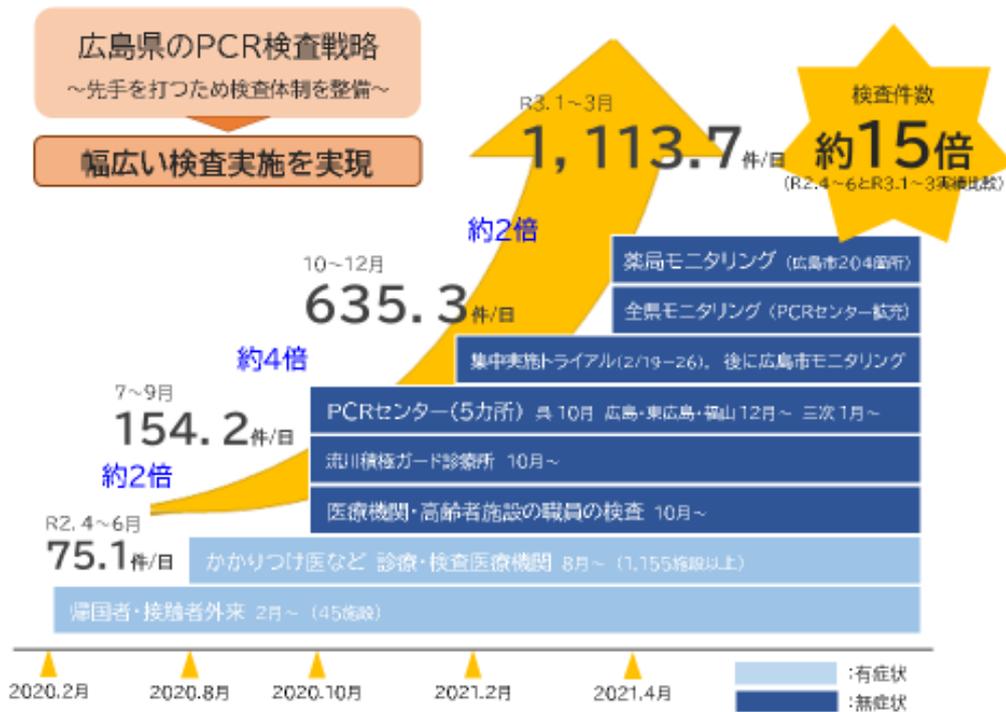
〔令和3年4月19日〕
新型コロナウイルス
感染症対策担当

1 要旨

本県では、令和2年7月21日の「広島積極ガード宣言」(対処方針)のもと、感染者を個別に特定していく積極的疫学調査の徹底、感染者を面的に探知していくPCR検査体制の充実に努め、感染の連鎖を遮断することで、極力、行動制限を行うことなく、県民が日常の生活を続けられる状態を保ちながら、感染の拡大防止に努めることを基本としている。

無症状の感染者を早期に捕捉し対策につなげるPCRセンター等について、これまでの設置状況や検査の実施状況について報告する。

～ 図1 検査体制の拡充と1日あたり検査数 ～



2 PCRセンター等の設置, 検査状況

(1) クラスターへの対応

昨年9月下旬の呉市における飲食店でのクラスターの発生、広島市における接待を伴う飲食店でのクラスター発生及び年末の忘年会等に対応して、時限的に設置した。

センター名		受検者数	陽性者数	陽性率	開設期間
1	呉PCRセンター (臨時)	617	13	1.5%	R2.10/2～10/11
2	流川積極ガード診療所	262			R2.9/29～12/28
計		879			—

(2) 感染の拡大への対応

昨年12月初旬からの広島市内における感染の急増と県内全域への拡大基調に対応して、全ての高齢者施設、障害者（児）施設、医療機関、飲食店などの従事者等を対象にした検査を積極的に行うため、県内5か所に「PCRセンター」を順次、開設してきた。

センター名		受検者数	陽性者数	陽性率	開設日
3	広島（流川）PCRセンター	6,222	529	1.4%	R2. 12/5～
4	広島（観音）PCRセンター	15,277			R2. 12/10～
5	東広島PCRセンター	3,902			R2. 12/29～
6	福山（新浜）PCRセンター	9,499			R2. 12/30～
臨	福山（松浜）PCRセンター	136			R3. 3/3～3/17
7	三次PCRセンター	3,364			R3. 1/10～
計		38,400			—

※受検者数などは、各センター開設日からR3. 3. 31までの実績である。

※「福山市PCRセンター（松浜）」は、臨時の設置である。

(3) モニタリングの強化への対応

感染状況が改善し集中対策が終了した2月22日以降は、広島市内の2カ所のセンター（流川、観音）において、広島市民を対象としたモニタリング検査を新たに開始した。4月1日以降は、全てのセンターにおいて、対象者や検査場所を限定しないモニタリング検査を実施しており、感染拡大の兆候を早期に把握するための検査体制に移行している。

また、薬局を活用した検査を広島市内及び福山市内（4月16日～）において実施している。

《PCRセンターのモニタリング状況》

令和3年4月16日現在

センター名		受検者数	陽性者数	陽性率	実施期間
3	広島（流川）PCRセンター	1,065	73	0.7%	R3. 4/1～
	〃 ※ 広島市のみ	1,852			R3. 2/22～3/31
4	広島（観音）PCRセンター	2,237			R3. 4/1～
	〃 ※ 広島市のみ	2,848			R3. 2/22～3/31
5	東広島PCRセンター	666			R3. 4/1～
6	福山（新涯）PCRセンター	1,981			R3. 4/1～
7	三次PCRセンター	348			R3. 4/1～
計		10,997	—		

《薬局のモニタリング状況》

令和3年4月16日現在

エリア		受検者数	陽性者数	陽性率	実施期間
8	広島市内（204薬局）	7,963	1	0.01%	R3. 4/1～5/31
9	福山市内（108薬局）	0	—	—	R3. 4/16～5/31
計		7,963	1	0.01%	—

(4) 感染拡大の兆しを受けた対応

3月下旬から再び感染拡大の兆候が見られるとともに、入学・入社・転勤など人の移動が活発になり感染のリスクが高まることから、転入者や県外往来した方々に検査の機会を確保し、感染の芽を小さいうちに摘み取り、感染が再拡大することのないよう「春のPCR検査集中実施」を行っている。

《春のPCR検査集中実施の状況》

令和3年4月16日現在

アクセスポイント		受検者数	陽性者数	陽性率	実施期間
10	広島県庁	496	6	0.3%	4/12~4/25
11	広島駅北口ペDESTリアンデッキ	1,437			4/12~4/25
3	広島(流川)PCRセンター	31			4/12~4/25
4	広島(観音)PCRセンター	79			4/12~4/25
12	市内大学(15大学17キャンパス)	1,625	0	0.0%	4/12~4/23
計		3,668	6	0.2%	—

3 これまでの取組に係る評価など

取組の視点	評価など
PCRセンターの常設	・地域の実情に応じたウォークインやドライブスルーなど、また、地域の分かり易い場所で実施しており、今後の感染状況等に応じて継続を検討
薬局の活用	・1週間2,000人の見込みを大きく上回る、2週間で約8,000人が受検 ・居住地の近くで検査キットの受取や提出がしやすくなったと考えられる。 ・60歳代以上の高齢者が50%以上を占め、若年層の受検が少ない。
時期を得た集中実施(春の集中実施)	・個人は、200人/日の見込みを上回る、約310人/日が受検 ・事業所は、600人/日を見込んでいるが、約100人/日と下回っているため、チラシにより周知や働き掛けを行うこととする。
大学生に向けた働き掛け	・900人/日を見込んでいるが、約330人/日と下回っている。 ・新入生や帰省した学生を主な対象とするもので、自身の大学で検査キットの受取や提出がしやすいことを周知し、受検を働きかけることとする。

4 今後について

既に感染拡大の兆候が見られる状況にあることから、積極的疫学調査による感染者の捕捉と囲い込みに努める。

また、これまでのPCRセンター等の設置、運営のノウハウを活かして、必要な場合には時期を逸することなく感染状況に応じた「PCR検査の集中実施」を行い、外出自粛や時短の要請など強い対策を講じることがないように感染を抑え込んでいく。

